

# 薬剤師の生涯学習と薬剤師認定制度の認証

## 6年制課程を巣立った諸君へ —生涯学習の勧め—

公益社団法人 薬剤師認定制度認証機構

内 山 充

薬剤師の教育制度改革は、国民の健康志向や医療環境の変化に伴う社会的要請によって実現した。それゆえに新たに登場した6年制卒業の薬剤師に対して、いろいろな意味で期待や激励の言葉が投げかけられている。そして、この教育制度改革をわが国の人と社会にとって価値あるものにする責任は、新卒生をはじめそれを受け入れる全薬剤師にあり、人々の期待に応じて実績を示して行くことが大切であることは言うまでもない。

### 進歩と変化は待ってくれない

医学も薬学も、他の科学技術と共に急激に進歩している。一方、疾病構造の変化とともに患者意識の高まりもあり、患者主体の医療への変化が明らかである。時代の変化は目まぐるしい。昨日の知識で今日も薬剤師としての仕事ができるとは限らない。『昨日卒業して、今日学ぶことを止めれば、明日は無学！』ともいわれる。既卒の先輩薬剤師は、それら必要な知識と能力を、生涯学習により自ら学び取る努力を継続しつつある。したがって、今や教育年限の区別なく、薬剤師には生涯に亘る継続的な学習が必須の状況になっている。

### 免許取得は権利と同時に義務を負っていること

諸君は、免許取得により、薬剤師にしかできない職務上の権利を与えられた。しかし、そこには薬剤師として相応しい仕事をする義務が付随していることを忘れてはならない。相応しい仕事をしているかどうかは、自分ではなく世の中の人判断するのである。薬剤師としてこれでよいか、何か学ぶことはないかについて、先輩に聞くなどして貪欲に生涯学習に励むことにより、時代に即応した、薬剤師に相応しい正しい判断のできる能力を身につけることができよう。

### 新しい社会的価値を創る意欲を

薬剤師の実務には、調剤（広義）と疑義照会と情報提供という基盤業務がある。医療現場での基盤業務のすべてを大学教育に求めるのは不可能であるので、諸君は卒後の学習でまず基盤業務を身に付けて欲しい。先輩薬剤師は現在、この薬剤師基盤業務を超える新しい価値の創造に務めている。すなわちチーム医療への参画と貢献、在宅療養での信頼と実績獲得、セルフ及びプライマリ・ケアでの責任ある行動と役割など、薬剤師職能を患者のために最大限に生かすことのできる新しい価値開拓に意欲的に挑戦している。

諸君も基盤業務の習得後は、新しい知識と感覚をもって先輩薬剤師に協力し、薬剤師実務の新しい社会的価値の実績作りに努めていただきたい。これらの経験と実績は、すべて生涯学習とその実践の積み重ねから生み出される。

### 選ばれたものだけが生き残る

激しい進歩と変化の中で患者本位の医療が進むにつれて、いずれ患者が薬剤師の能力と適性、それに心根（思いやり）に対する値踏みをして、薬剤師を選ぶ時代が来るに違いない。その時代に生き残るためには、継続した学習によって自らの職能と感覚を常にリフレッシュしておく必要がある。知識社会では、「働くことは学ぶこと」である。生涯学習は、仕事の合間に付加的に行うものではなく仕事そのものだといえる。

時代の変化は些細なことが原因で一気に起こる。起きてからの対策では間に合わない。結局変化に鈍感な集団は取り残されるしかない。6年制教育を受けた諸君は、生涯学習への積極的な参加によって、薬剤師の将来を敏感に捉え、選ばれる薬剤師像を確立して欲しい。

(薬剤師認定制度認証機構 <http://www.cpc-j.org/> コラム欄より)

# Information Box @ MY OPINION

## 薬剤師が 知っておきたい 情報あれこれ

## 【薬剤師認定制度の認証】

医療も医薬も、日に日に新しく進歩し変化しています。薬剤師の職能は、人々に信頼されなければ成り立ちません。薬剤師は教育年限にかかわらず、生涯学習をつづけ、社会ニーズに対応できる職能と適性を自ら維持しなければならないのは言うまでもないでしょう。

生涯学習を提供する団体は数多くありますが、第三者により客観的に質が保証された機関（プロバイダー）の認定薬剤師になるのは、患者や同じ医療者から信頼を得るひとつの大きな要素です。

公益社団法人薬剤師認定制度認証機構では、生涯研修を実施しているプロバイダーに対して公正な評価を行い、基準に適合すると認められるプロバイダーを認証、公表しています。

薬剤師は、卒後の研修に関して法的になんら支援も拘束も受けていません。ここでご紹介する情報を参考に、自由に自らの将来計画を立て、良質な研修機会・場所を選択し、積極的に生涯研鑽に取り組んでいただきたいと切に願います。

### 認証の対象と狙い

薬剤師のジェネラリストとしての職能向上に役立つ知識と情報を伝達できる指導的研修プログラム（生涯研修認定制度）、及び特定の領域に焦点を絞って、薬剤師の専門職能を生かした効果的な医療貢献をする能力を養える計画的研修プログラム（特定領域認定制度、専門薬剤師制度）を主な認証対象としています。

#### ■第三者評価の目的と期待は次のとおりです

- ・職能向上と信頼性：質の高い薬剤師生涯研修体制を確保して、薬剤師の能力・適性の向上を図り、医療における薬剤師の貢献度と信頼性を高める
- ・すぐれた研修を選択する情報の提供：自己研鑽をめざす薬剤師に、生涯研修を選択する際の信頼性の高い情報を提供する
- ・均質の研修で単位の互換：生涯研修均質性を保つことで受講者の多様な研修実績を統合し、記録できる状況を確認する
- ・競合と発展：プロバイダーが、生涯研修の内容を常に改善し強化すべく競合し発展する

### プロバイダーに求められる条件

#### ■薬剤師認定制度認証機構が認証にあたってプロバイダーに求めている主な条件は次のとおりです

- ・非営利、門戸公開、受講者主体の運営
- ・6年ごとの認証更新、認定証発給数の年次報告
- ・研修内容の事前評価、研修効果・修得度等の評価
- ・研修会には、遡及可能なように識別番号をつける
- ・受講証明（単位シール）は、実施者、実施日、単位数等が判別できること
- ・認証されたプロバイダー相互間での単位互換性（一定の条件付与は可）
- ・他の受講証明、単位等との重複付与の禁止

プロバイダーの研修は質が保証されているので、各々の研修で得た受講単位（単位シール）は原則として互換性があり、どこで得た単位でも通計できます。ただし、認定証申請の条件については【資料】を参照してください。

【資料】薬剤師認定制度認証機構の認証プロバイダー

| 認証<br>番号   | 実施機関                   | URL   | 他プロバイダーの        |                 |           |
|------------|------------------------|---|-----------------|-----------------|-----------|
|            |                        |   | 単位受け入れ          |                 | 認定証<br>更新 |
|            |                        |   | 新規認定            | 認定更新            |           |
| 【生涯研修認定制度】 |                        |   |                 |                 |           |
| G01        | 日本薬剤師研修センター            | http://www.jpec.or.jp/contents/c03/index.html           | 2割以内            | 2割以内            | 扱わない      |
| G02        | 東邦大学薬学部                | http://cptc.phar.toho-u.ac.jp/                          | 制限なし            | 制限なし            | 受けつける     |
| G03        | 薬剤師あゆみの会               | http://www.ph-ayumi.org/                                | 20/40以下         | 15/30以下         | 受けつける     |
| G04        | 慶應義塾大学薬学部              | http://www.pha.keio.ac.jp/pharmacy/index.html           | 20/40以下         | 15/30以下         | 受けつける     |
| G05        | イオン・ハピコム人材総合研修機構       | http://www.hapycom.or.jp/                               | 制限なし            | 制限なし            | 受けつける     |
| G06        | 明治薬科大学                 | http://www.my-pharm.ac.jp/nintei/index.html             | 10/40以下         | 10/30以下         | 受けつける     |
| G07        | 神戸薬科大学エクステンションセンター     | http://www.kobepharma-u.ac.jp/extension                 | 35/40未満         | 20/30未満         | 受けつける     |
| G08        | 石川県薬剤師会                | http://www.center-kenyaku.jp/                           | 制限なし            | 制限なし            | 受けつける     |
| G09        | 新潟薬科大学                 | http://www.nupals.ac.jp/koudo/                          | 制限なし            | 制限なし            | 受けつける     |
| G10        | 北海道薬科大学                | http://www.hpus.school-info.jp/                         | 25/40未満         | 20/30未満         | 受けつける     |
| G11        | 星薬科大学                  | http://www.hoshi.ac.jp/home/nintei/index.html           | 20/40以下         | 15/30以下         | 受けつける     |
| G12        | 昭薬同窓会・平成塾              | http://shoyaku.net/                                     | 25/40未満         | 20/30未満         | 受けつける     |
| G13        | 医学アカデミー薬学ゼミナール生涯学習センター | http://www.yakuzemi-shougai.jp/                         | 20/40以下         | 15/30以下         | 受けつける     |
| G14        | 北海道医療大学                | http://www.hoku-iryu-u.ac.jp/~p-support/index.html      | 20/40以下         | 15/30以下         | 受けつける     |
| G15        | 埼玉県病院薬剤師会生涯研修センター      | http://www.saibyoyaku.or.jp/kensyu                      | 制限なし            | 制限なし            | 受けつける     |
| 【特定領域認定制度】 |                        |   |                 |                 |           |
| P01        | 医薬品ライフタイムマネジメントセンター    | http://www.dlmc.jp/                                     | 20/50以下         | 10/30以下         | 扱わない      |
| P02        | 日本プライマリ・ケア連合学会         | http://www.primary-care.or.jp/nintei/yakuzai_index.html | 指定研修<br>20/50以下 | 指定研修<br>10/30以下 | 扱わない      |

2012年4月現在

各プロバイダーの開催する研修会は、下記の認証プロバイダーのポータルサイト「認定薬剤師.com」で入手できます。

これは認証プロバイダーが共同で運営する、研修会の情報検索サイトです。

<http://ninteyakuzaishi.com/>

